

機能別に分類した

技術計算 ソフトウェア

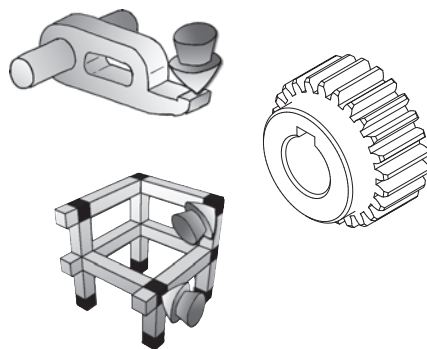


CADTOOL フローティングライセンス版

FEM6 / メカニカル7 / フレーム構造解析9 共通

マルチパッケージサーバー
インストールマニュアル

INSTALL MANUAL



キャデナス・ウェブ・ツール・キャド株式会社

第 1 章 CADTOOL マルチパッケージサーバーの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあればすべて終了し、CADTOOL マルチパッケージCDをドライブに挿入します。マルチパッケージのインストール用メニューが自動実行されます。CDが自動実行されない場合には直接実行を行って下さい。

メニューより[マルチパッケージサーバー]をクリックするとライセンスサーバーのインストールが開始されます。



直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] のウィンドウが表示されます。

[名前欄] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。

E:\multi_ist.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)

またインストーラを直接実行する場合には、マイコンピュータよりCD-ROMの入ったドライブを右クリックし、「開く」を選択しCD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウより「server」フォルダを開き、フォルダ内のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。

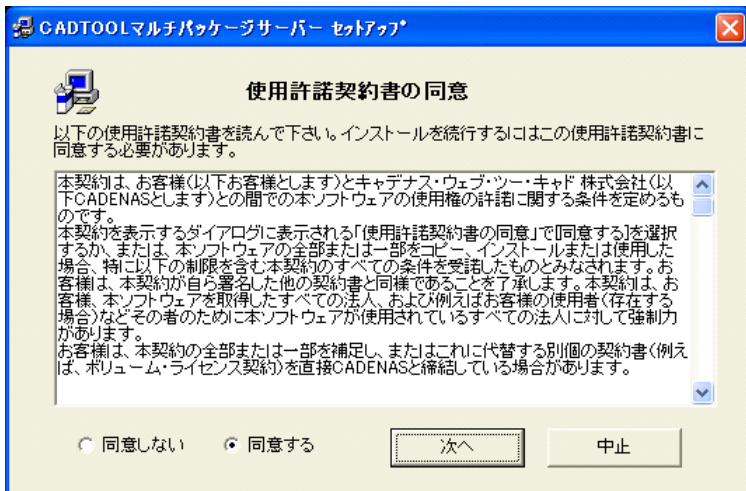
E:\server¥setup.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)



Windows NT4.0 または、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7でCADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってください。

2. セットアップの開始

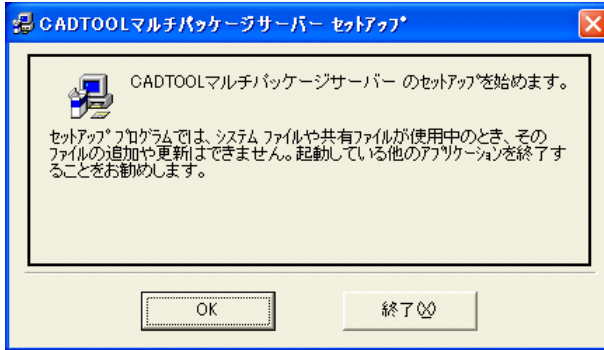
セットアッププログラムが起動すると初期化ファイルのコピーを行った後、ソフトウェア使用許諾契約書の画面が表示されます。



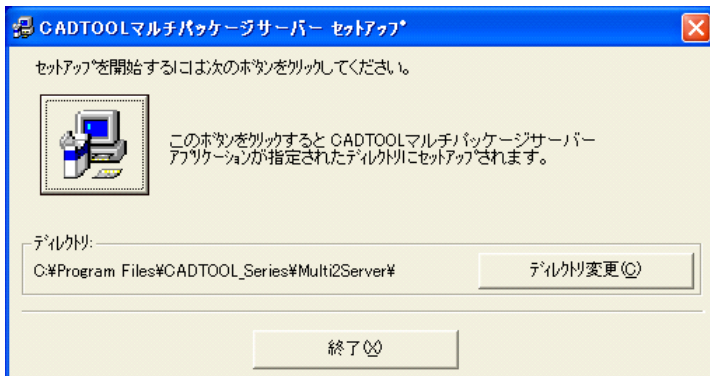
CADTOOLマルチパッケージサーバーをインストールして使用するにはこの使用許諾契約書に同意する必要があります。スクロールして全ての文書に目を通して同意できる場合は オプションボタンの [同意する] をクリックすると [次へ] のボタンが押せるようになりますので次に進みます。

同意できない場合は [中止] ボタンをクリックして下さい。中止すると初期化ファイルが削除されセットアップは中止されます。

続いて [CADTOOLマルチパッケージサーバー] セットアップ開始画面が表示されます。ここでも終了すると初期化ファイルが削除されセットアップは中止されます。



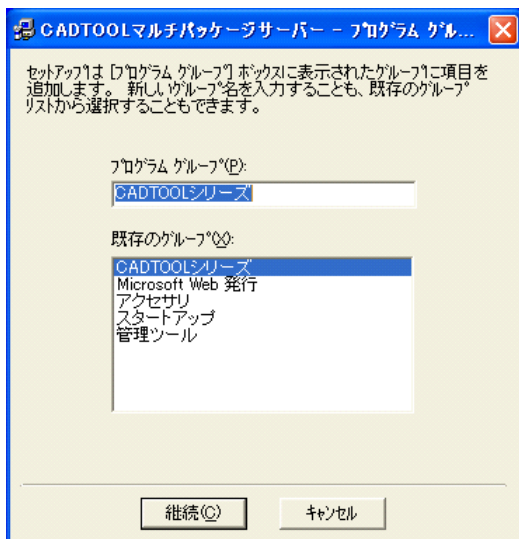
[OK] ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



ここで左上の大きなボタンをクリックするとインストールが開始されます。インストール先のディレクトリを変更したい場合は [ディレクトリ変更] ボタンをクリックして変更することができ、変更したディレクトリがない場合は新規にディレクトリが作成されます。ただし アンインストールする可能性があれば専用のディレクトリにインストールするようにしてください。

またルートディレクトリにはインストールしないで必ずサブディレクトリにインストールして下さい。通常はこのままでかまいません。

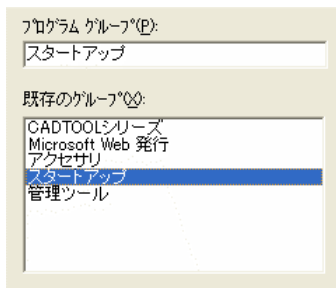
次にプログラムグループを選択する画面が表示されます。



標準の設定では[CADTOOL シリーズ]というプログラムグループが作られそこに [マルチパッケージサーバー] が追加されるようになっています。ここで [継続] ボタンをクリックするとプログラムのインストールが開始されます。

セットアップが完了すると [スタートメニュー] > [プログラム] に [CADTOOLシリーズ] グループが追加され、その中に [マルチパッケージサーバー] ができ標準の設定ではここから起動するようになります。

コンピュータ起動時に自動でライセンスサーバーを起動したい場合はプログラムグループの選択で右に示すように [スタートアップ] を選択するとスタートアップの中に [マルチパッケージサーバー] ができ コンピュータ起動時に自動で起動するようになります。

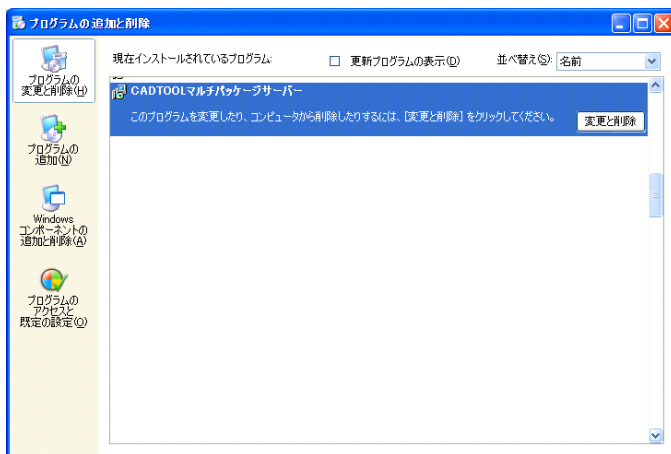


スタートアップには後からマニュアルで追加することも可能で、またショートカットを デスクトップに作っておきそこから起動するような使い方もできます。使用頻度や運用方法等により使いやすい方法を選択して下さい。なおスタートアップに追加する場合やショートカットの作成についてはWindows のマニュアルを参照して下さい。

3. アンインストールする場合

〔CADTOOLマルチパッケージサーバー〕が起動している場合は終了します。

〔スタートメニュー〕 > 〔コントロールパネル〕をクリックします。〔コントロールパネル〕のウィンドウが表示されますので〔アプリケーションの追加と削除〕のアイコンをクリックして次のウィンドウを表示します。



一覧から〔CADTOOLマルチパッケージサーバー〕を選択して〔変更と削除〕ボタンをクリックするとアンインストールできます。

4. アンインストール後の処理

アップデート等を実行するとアンインストールしてもインストールしたディレクトリやそのディレクトリにファイルが残ることがあります。

またOSに関係なくユーザーフォルダの下に作業フォルダを作って終了時のダイアログの位置を保存した起動時デフォルトデータや後で説明するログファイルが作られることがあります。標準では下記のパスが作業フォルダになります。

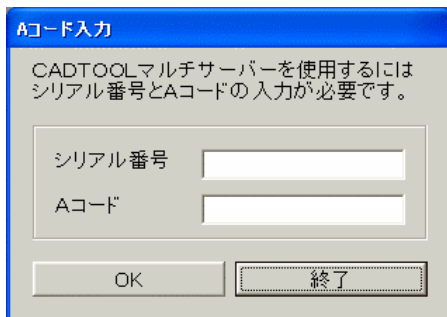
C:\¥Document and Settings¥****¥Local Setting¥Application Data¥CADTOOL_Series¥Multi2Server

ここで****の部分はログオンユーザー名になりますのでユーザー毎に変わってきます。インストールしたディレクトリと作業フォルダに他のアプリケーションや必要なデータファイルが入っていない場合はアンインストール後にインストールディレクトリと作業フォルダを削除してください。

第2章 ライセンスサーバーの起動

1. シリアル番号・Aコード（オーソライゼーションコード）入力

インストール直後に [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ]（プログラムグループにスタートアップを選択した場合は [スタートアップ]）> [マルチパッケージサーバー] をクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] を起動すると次に示すAコード入力ダイアログが表示されます。また [スタートアップ] に登録した場合はコンピュータを再起動しても表示されます。



ここでユーザー登録用紙に記載されているCADTOOLマルチパッケージサーバーのシリアル番号とAコードを入力します。

ここで [OK] ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればAコードが登録され、続いてサーバーライセンス入力ダイアログが表示されます。不適正なものを入力した場合はメッセージが表示されますので再度入力してください。

シリアル番号とAコードが登録されると次回起動時からこのAコード入力ウィンドウは表示されません。

Windows NT4.0 または、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7でシリアル番号、Aコードを登録する場合は、必ず Administrator 権限で行ってください。

2. サーバーライセンス入力

Aコード入力完了すると次に示す[サーバーライセンス入力]ダイアログが表示されます。
以下にこのダイアログの操作を説明します。

サーバーライセンス入力

①ライセンス認証に使うホストIDを選択する 認証情報削除
 ホストID:

②申請するライセンス数を入力する

FEMライセンス数	フレーム構造解析ライセンス数	
Ver6	Ver8	Ver9
<input type="text" value="*"/>	2D: <input type="text" value="*"/>	<input type="text" value="*"/>
メカニカルライセンス数	3D: <input type="text" value="*"/>	<input type="text" value="*"/>
Ver7	動解析: <input type="text" value="*"/>	<input type="text" value="*"/>
<input type="text" value="*"/>		

③下のリクエストコードを申請してライセンスコードを発行してもらう
 リクエストコード 一旦終了

④発行されたライセンスコードを入力して認証ボタンをクリックする
 ライセンスコード 認証

①ライセンス認証に使うホストIDを選択します。ネットワークアダプタが1つの場合はホストIDも1つしかありませんが複数のネットワークアダプタがある場合はリストボックスからライセンス認証に使うホストIDを選択して下さい。ここで選択したホストIDをユーザー登録用紙のホストID記入欄に記入して下さい。

②申請するライセンス数を入力します。ここにはユーザー登録用紙に記載されているFEM、メカニカル、フレーム構造解析の2D、3D、動解析のそれぞれの[許諾ライセンス数]を入力して下さい。

③リクエストコード表示欄に表示されているライセンスコードをユーザー登録用紙のリクエストコード記入欄に記入してください。

その他ユーザー登録用紙に必要事項を記入して下記にFAXして下さい。

キャデナス・ウェブ・ツール・キャド(株)ユーザー登録係 FAX 03-5961-5032

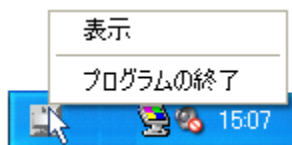
ライセンスコードが発行されるまで [一旦終了] ボタンをクリックしてプログラムを終了します。

④ライセンスコードが発行されたら再度 [CADTOOLマルチパッケージサーバー] を起動すると上記のダイアログが開きますので発行されたライセンスコードを入力して [認証] ボタンをクリックします。

ライセンスコードが認証されると右に示すようにタスクトレイに [CADTOOLマルチパッケージサーバー] のアイコンが表示されます。



このアイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示され、ここからライセンスサーバーの管理画面の表示やプログラムの終了を行います。

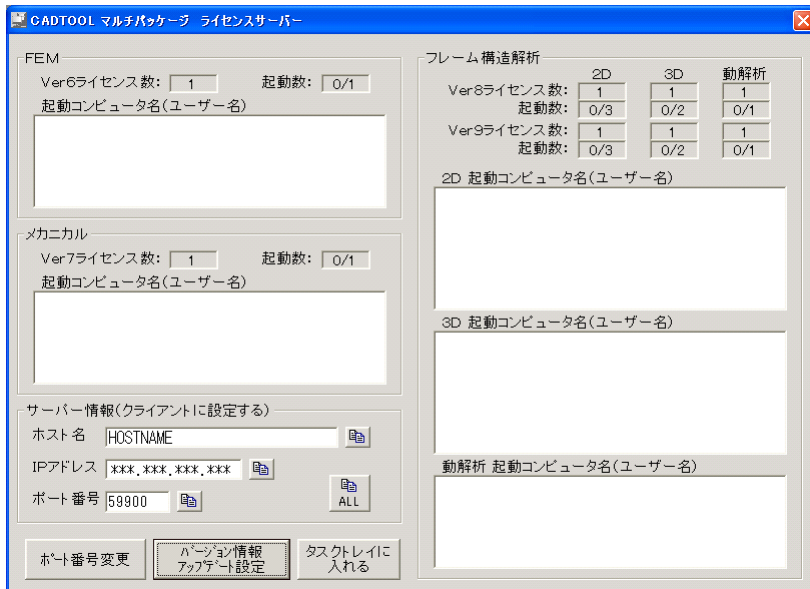


なおリクエストコード表示欄の右にあるボタンでリクエストコードをクリップボードにコピーすることができ、ライセンスコード入力欄の右にあるボタンでクリップボードからライセンスコードを貼り付けることができます。通常は使いませんがメールでのやり取りが必要になった場合に利用すると便利です。

またダイアログ右上にある [認証情報削除] ボタンをクリックすると登録したシリアル番号とAコードの情報が削除され1のAコード入力からやり直すことができます。

3. ライセンスサーバーの管理画面について

タスクバーのアイコンを右クリックしてポップアップメニューから [表示] をクリックすると次に示すライセンスサーバーの管理画面が表示されます。



ここには各パッケージの許諾ライセンス数が表示されます。起動数の欄は“/”の右側の数字が最大起動台数となり、左側の数字が実際に起動している台数となります。

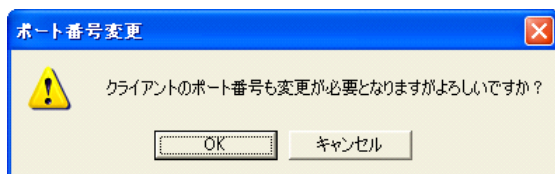
フレーム構造解析では2Dのコマンドの最大起動台数は2Dと3Dと動解析のライセンス数の合計となり、3Dのコマンドの最大起動数は3Dと動解析のライセンス数の合計となります。

上の例のようにフレーム構造解析で2D、3D、動解析のライセンス数が各1の場合は2Dのコマンドは最大3台のコンピュータで実行でき、3Dのコマンドは最大2台のコンピュータで実行できることとなります。なお2Dのコマンドの範囲はフレーム構造解析8-2Dのマニュアルを参照して下さい。

またそれぞれの表示欄には起動中のコンピュータ名とユーザー名が表示されるようになっています。なおフレーム構造解析の場合はバージョンに応じてコンピュータ名の前に“V8”か“V9”が付いて表示されます。

サーバー情報欄にはクライアントに設定する項目が表示されますので、後で説明するようにこれらを各クライアントで設定します。各表示欄右にあるボタンはクリップコピーボタンでそれぞれの表示内容をクリックボードにコピーします。また右下の [ALL] ボタンではホスト名、IPアドレス、ポート番号をまとめてクリックボードにコピーできますので必要に応じてクライアントの設定に利用して下さい。

ポート番号はデフォルト値が表示されていますがクライアントが起動していなければ変更が可能です。ポート番号を変更したい場合は直接ポート番号表示欄でポート番号を修正してから [ポート番号変更] ボタンをクリックします。続いて次に示す確認メッセージが表示されますのでここで [OK] ボタンをクリックするとポート番号が変更できます。

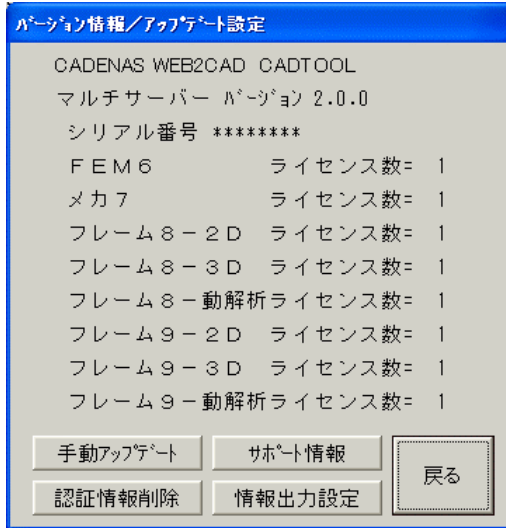


クライアントが1度でも起動した後は入力欄およびボタンがグレイアウトしてポート番号の変更はできなくなります。再度変更したい場合はクライアントをすべて終了し、ライセンスサーバーを一旦終了してから再起動すると変更できるようになります。コンピュータの再起動は必要ありません。

なお各クライアントのサーバー情報を設定した後にライセンスサーバーのポート番号を変更すると各クライアントも全て同じポート番号に変更する必要がありますのでどうしても変更が必要になったときのみ変更するようにしてください。

[バージョン情報/アップデート設定] ボタンをクリックすると次に示すウィンドウが表示され、CADTOOLのバージョンやシリアル番号、ライセンス数を確認することができます。

サポートを受ける場合は製品のバージョンやシリアル番号をお伝えいただいた方がスムーズに対応できるので、ここでバージョン情報を確認してご連絡下さい。



[手動アップデート] ボタンをクリックするとライブアップデートウィンドウが表示されライブアップデートを行うことができます。ライブアップデートを実行するとライセンスサーバーは自動で終了します。起動しているクライアントがいないかどうか確認してから実行して下さい。

[認証情報削除] ボタンをクリックすると登録されているシリアル番号とAコード、ライセンス数やライセンスコードの情報が削除され、次回起動時に1で説明したAコード入力ダイアログが表示されるようになります。ライセンスを変更したときはこのボタンで認証情報を削除してから再登録してください。

[サポート情報] ボタンをクリックすると発売元のキャデナス・ウェブ・ツー・キャド株式会社 のホームページやCADTOOL/ISOTOOLの製品紹介ページのURLなどが確認できるダイアログが開き、インターネットに接続されている環境ではそこから各ページを開くことができます。

また弊社サポートのメールアドレスも表示され、それをクリックするとメーカーが起動して弊社サポートへメールを送ることもできます。

[戻る] ボタンをクリックするとこのダイアログを閉じます。

[情報出力設定]ボタンをクリックすると後で説明するサーバー起動ログを出力したり、クライアントからサーバーの管理情報をモニターするための情報を出力する起動情報出力設定ダイアログが表示されます。この機能については次で説明します。

ライセンスサーバーの管理画面を閉じる場合は右上の×ボタンか [タスクトレイに入れる] ボタンをクリックします。いずれの場合もプログラムが終了するわけではありません。プログラムの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして [プログラムの終了] をクリックしますがWindows をシャットダウンしても自動的に終了します。

4. 起動情報出力設定について

マルチパッケージサーバーではサーバーの起動時間およびサーバー起動中のクライアントの使用状況、サーバーの終了時間をログファイルとして出力することができます。またサーバーの管理情報をモニター情報としてファイル出力しておきクライアントからサーバーの管理情報をファイル参照してモニターすることもできるようになっています。

このログやモニター情報を出力する場合は [バージョン情報/アップデート設定] ボタンをクリックして[情報出力設定]ボタンをクリックして起動情報出力設定ダイアログを表示させます。

ここで上段がサーバー起動ログ出力設定で下段がモニター情報出力設定となります。クライアントのモニター機能の使用方法については後で説明しますがネットワーク経由でモニター情報を取得する場合はこのモニター情報出力設定は不要ですので空欄にしておきます。

いずれもフォルダパスの入力欄にパスを入力するとそのパスにログやモニター情報を出力しますので出力したい場合はサーバーから書き込み可能なパスを設定します。また [参照] ボタンをクリックするとフォルダの参照ダイアログが表示されますのでそこから選択することもできます。

モニター情報をファイル参照で取得する場合はそのフォルダパスがクライアントから読み込み可能なパスになっている必要がありますので適切なアクセス権を設定した共有フォルダを先に作ってそれを選択してください。

[削除] ボタンをクリックするとフォルダパスの入力欄が空欄となります。出力しない場合はフォルダパスの入力欄を空欄にしておいてください。

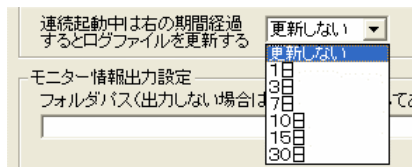
サーバー起動ログ出力設定の [デフォルト] ボタンをクリックすると前章の4. アンインストール後の処理で説明した作業フォルダがフォルダパスに入力されます。

ログはサーバーの起動時にヘッダー+起動時の時間で構成したファイルに出力していきます。例えば次のログファイルは2010年1月23日07時48分56秒にサーバーを起動したときのファイル名となります。

MULTI2_SERVER_100123074856.LOG

ログファイルはサーバーが終了するまで同じファイル名に記入していきますので連続起動している場合はファイルサイズが大きくなったり、管理しにくくなることが考えられますので [デフォルト] ボタンの左にあるリストボックスでログファイルの更新期間を設定することができます。

ここで [更新しない] を選択した場合はサーバーの起動から終了までが1ファイルとなり、期間を選択した場合はその期間が経過するとログファイルが更新されるようになります。



ログの管理方法等を検討して更新期間を選択して下さい。なおログファイルの自動削除機能はありませんので必要に応じて管理者が削除してください。

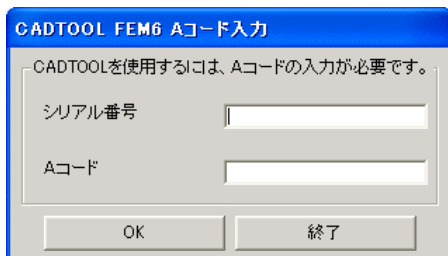
またログファイルが必要ない場合は前述の起動情報出力設定ダイアログのサーバー起動 ログ出力設定のフォルダパスを空欄にしておいてください。

第3章 クライアントの設定

※クライアントのソフトウェアは通常版（シングルライセンス）と同じです。通常版のマニュアルにしたがってインストールして下さい。

1. シリアル番号・Aコード（オーソライゼーションコード）入力

フローティングライセンス版のクライアントはライセンスサーバーと同じシリアル番号を使用します。インストール直後に[スタートメニュー]>[すべてのプログラム]>[CADTOOLシリーズ]からそれぞれのパッケージを起動すると次のAコード入力ダイアログが表示されます。（次の例はFEM6になります）



通常版として既に登録してありAコード入力ダイアログが表示されないものをフローティングライセンス版に変更する場合はクライアントのコマンド起動メニューの[バージョン情報／アップデート設定]で[認証情報削除]ボタンをクリックして認証情報を削除してから再起動すればAコード入力ダイアログが表示されるようになります。

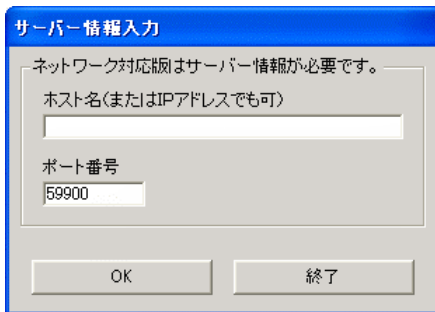
なお認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新の状態にしてから認証削除するようにしてください。

ここでCADTOOLマルチパッケージサーバーのユーザー登録用紙に記載されているシリアル番号（マルチパッケージサーバーと共通）と各パッケージ用のAコード（パッケージ毎に異なる）をそれぞれ入力して[OK]ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればAコードが登録され、続いて各パッケージのサーバー情報入力ダイアログが表示されます。

なおパッケージの種類やバージョンによりシリアル番号を入力した時点でAコードが自動的に入力された場合（Aコードは***で表示されグレイアウトされる）はそのまま[OK]ボタンをクリックしてください。

2. サーバー情報の入力

サーバー情報入力ダイアログではライセンスサーバーの管理画面に表示されるホスト名か、またはIPアドレスのどちらかを入力します。



サーバー情報入力

ネットワーク対応版はサーバー情報が必要です。

ホスト名(またはIPアドレスでも可)

ポート番号

59900

OK 終了

ポート番号はデフォルト値が表示されますがライセンスサーバーの管理画面と同じポート番号になっているか確認してください。

ライセンスサーバーでポート番号を変更してポート番号が違っている場合はこの画面で 直接同じポート番号を入力して下さい。

サーバー情報が入力できたら[OK]ボタンをクリックするとコマンド起動メニューが表示され各クライアントが使用可能となります。

なおホスト名が変わったりポート番号を変更した場合はコマンド起動メニューの [バージョン情報/アップデート設定] で [認証情報削除] ボタンをクリックして認証情報を削除してシリアル番号の入力から設定しなおして下さい。

第4章 CADTOOLマルチパッケージモニターの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあればすべて終了し、CADTOOL マルチパッケージCDをドライブに挿入します。マルチパッケージのインストール用メニューが自動実行されます。CDが自動実行されない場合には直接実行を行って下さい。

メニューより[マルチパッケージモニター]をクリックするとモニターのインストールが開始されます。

直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] のウィンドウが表示されます。

[名前欄] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。

E:\multi_ist.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)

またインストーラを直接実行する場合には、マイコンピュータよりCD-ROMの入ったドライブを右クリックし、「開く」を選択しCD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウより「monitor」フォルダを開き、フォルダ内のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。

E:\monitor¥setup.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)



Windows NT4.0 または、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7でCADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってください。

2. マルチパッケージモニターの起動

セットアッププログラムが起動してからのインストール方法はサーバーや各クライアントと同じ操作になりますのでそちらを参照してマルチパッケージモニターのプログラムをインストールしてください。

デフォルトの設定でインストールした場合は [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] > [マルチパッケージモニター] をクリックして [CADTOOLマルチパッケージモニター] を起動します。

初回起動時はサーバーの起動情報取得方法が未設定なので次に示す起動情報取得設定ダイアログが表示されます。なお [マルチパッケージモニター] にはシリアル番号・Aコードの入力は必要ありません。

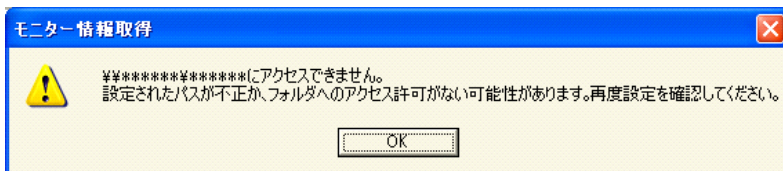
上記の例はモニター情報取得方法をネットワーク経由とした場合でクライアントの設定と同様にパッケージのシリアル番号とサーバー情報を入力します。モニター情報取得方法をファイル参照方式とした場合の設定ダイアログは次のようになります。

ここでファイル参照情報取得設定のフォルダパスに [第2章 4. 起動情報出力設定] のモニター情報出力設定で設定したフォルダパスを入力するか、[参照] ボタンを押してフォルダの参照ダイアログで選択します。

どちらの方式でも正常にモニター情報が取得できた場合は次に示すようにサーバーの管理情報が表示されます。

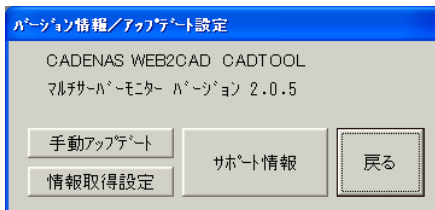


なおファイル参照方式でモニター情報出力先フォルダにアクセスできなくなった場合は次のメッセージが表示されます。



ここで [OK] ボタンをクリックすると先に説明した起動情報取得設定のダイアログが表示されますのでモニター情報出力先が変更されていれば再設定します。ネットワークが切れたりサーバーが落ちている場合はモニター情報取得設定ダイアログの [終了] ボタンをクリックしてモニタープログラムを終了します。

[バージョン情報/アップデート設定] ボタンをクリックすると次のダイアログが表示されます。



[手動アップデート] および [サポート情報] ボタンの機能はサーバーや他のパッケージと同じです。

[情報取得設定] ボタンをクリックすると先に説明した起動情報取得設定のダイアログが表示されますのでモニター情報の取得方法やそれぞれの設定内容を再設定することができます。

正常に起動しているモニタープログラムを終了する場合はモニター画面右上の [×] ボタンか [キャンセル] ボタンをクリックします。

3. 起動情報取得方法について

モニターのバージョン 2.0.5 よりサーバーの起動情報は [ネットワーク経由] と [ファイル参照方式] が選択できるようになっています。

ネットワーク経由ではモニター用に共有フォルダを作る必要はなくサーバー側の設定も不要です。通常はこちらの方式で良いでしょう。

ファイル参照方式は旧バージョンとの互換性のために残していますが共有フォルダの作成が必要となりサーバー側でもモニター情報の出力フォルダパスの設定が必要となります。

ただしネットワーク経由でのモニター情報の取得がうまくいかないような場合はファイル参照方式を試してみてください。

第5章 タスクスケジューラ登録方法 (Xp,2003Server)

ここでは[CADTOOLマルチパッケージサーバー]をインストールしたサーバーマシンを ログオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する方法を説明します。

サーバーマシンを常にログオンして使用する場合は前述のようにプログラムグループで スタートアップを選択しておけばタスクスケジューラに登録する必要はありません。

なおWindows Xp、Windows2003ServerとWindows Vista、Windows7では設定方法が異なり、ここではWindows Xp、Windows2003Server での設定方法を説明していきます。

Windows Vista、Windows7での設定方法は次章を参照してください。

1. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタートアップ) > [マルチパッケージサーバー] を選択し、正常に起動できるか確認を行います。また各クライアントのインストールも行って、クライアントも正常に起動できるか確認しておきます。

2. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスク] を選択し [スケジュールされたタスクの追加] を開きます。タスクが見つからない場合には、[コントロールパネル] > [パフォーマンスとメンテナンス] からタスクを開いてください。

[スケジュールされたタスクの追加] を開くと、タスクウィザードが開くので、[次へ] をクリックします。

3. タスクウィザードの操作

タスクウィザードのプログラム選択画面が開いたら実行するプログラムにMulti2_TaskManager.exeを選択します。

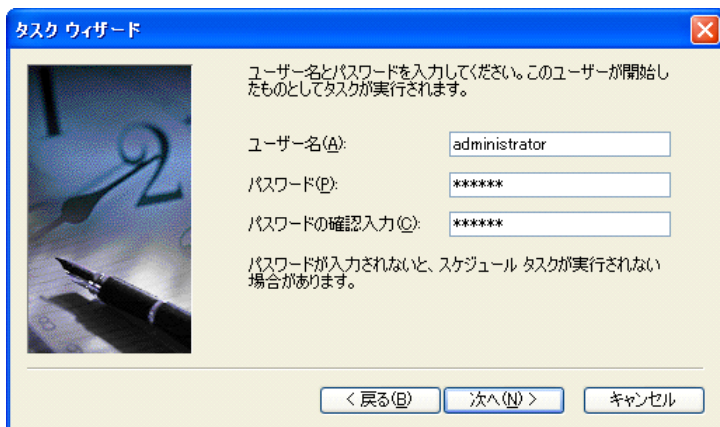
選択方法は[参照] ボタンをクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたフォルダ (デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi2Server) よりMulti2_TaskManager.exeを選択し、[次へ] をクリックします。



続いてタスクの名前を入れる画面になりますがタスク名称はそのままかまいませんので、ここでは“このタスクの実行”で [コンピュータ起動時] を選択して、[次へ] をクリックします。



次にユーザー名とパスワードの設定を行います。ログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力したら [次へ] クリックし設定を完了します。



以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認してください。

またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起動情報出力設定を行っておいてください。

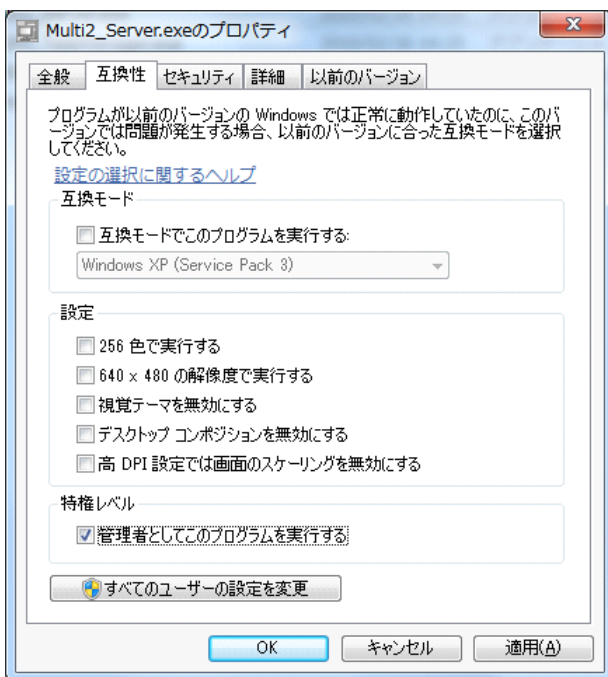
第6章 タスクスケジューラ登録方法 (Vista,Windows7)

ここではWindows Vista、Windows7で [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたサーバーマシンをログオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する方法を説明します。

1. 特権レベルの設定

Windows Vista、Windows7ではセキュリティが厳しくなりましたので先に特権レベルを設定する必要があります。 [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたらエクスプローラでインストールフォルダを開きます。

デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi2Serverになります。次にそのフォルダにあるMulti2_Server.exeをマウス右クリックしてプロパティを開き[互換性]タブを開きます。



ここの特権レベルにある“管理者としてこのプログラムを実行する”をチェックして [OK] ボタンをクリックします。同様にして同じフォルダにあるMulti2_TaskManager.exeにも特権レベルを設定します。

2. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

Multi2_Server.exeとMulti2_TaskManager.exeの特権レベルが設定できたら [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタートアップ) > [マルチパッケージサーバー] を選択し、シリアル番号・Aコード入力、サーバーライセンス入力を行い正常に起動できるか確認します。

なお特権レベルを設定する前にシリアル番号・Aコード、サーバーライセンスを入力していても特権レベルを設定すると再度入力が必要となります。また各クライアントのインストールも行って、クライアントも正常に起動できるか確認しておきます。

3. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスクスケジューラ] を開きます。



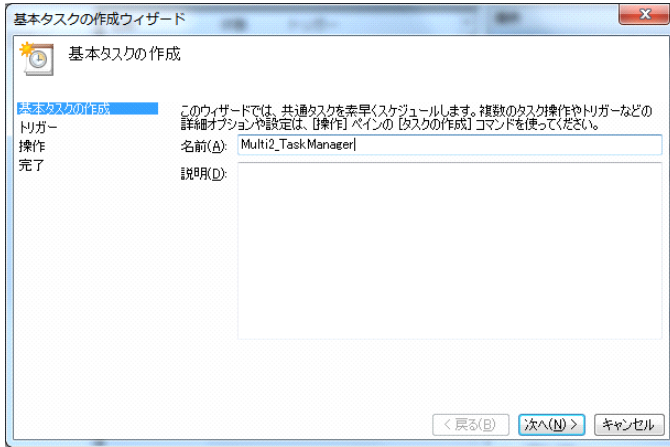
タスクスケジューラが見つからない場合には、[コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [タスクのスケジューラ] を開いてください。

右の操作の中から [基本タスクの作成] を開くと、基本タスクの作成ウィザードが開きます。

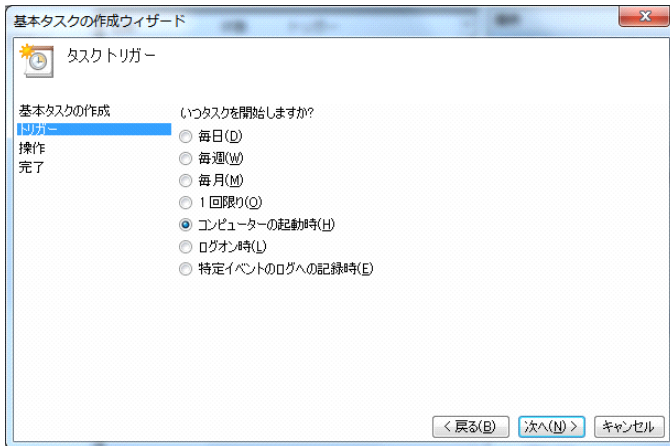
4. 基本タスクの作成ウィザードの操作

基本タスクの作成ウィザードではまず名前を入力します。

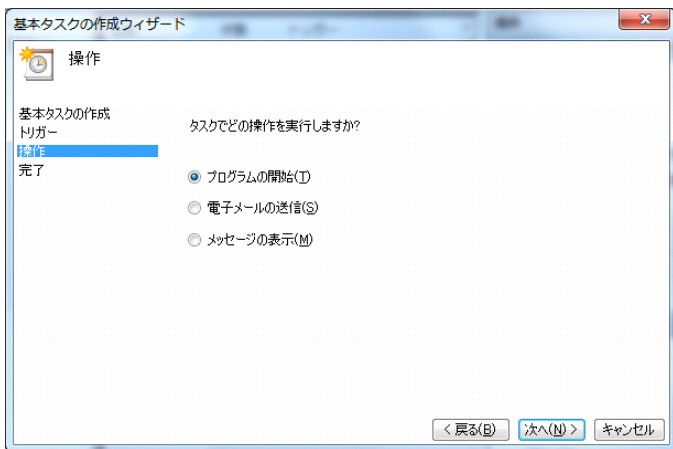
ここでは実行プログラムと同じ名前としてMulti2_TaskManagerと入力します。名前を入力したら [次へ] をクリックします。



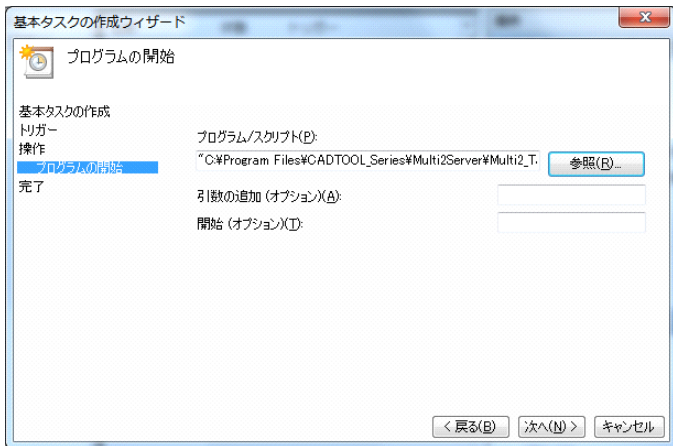
続いてタスクトリガーの設定となりここでは「コンピューターの起動時」を選択して [次へ] をクリックします。



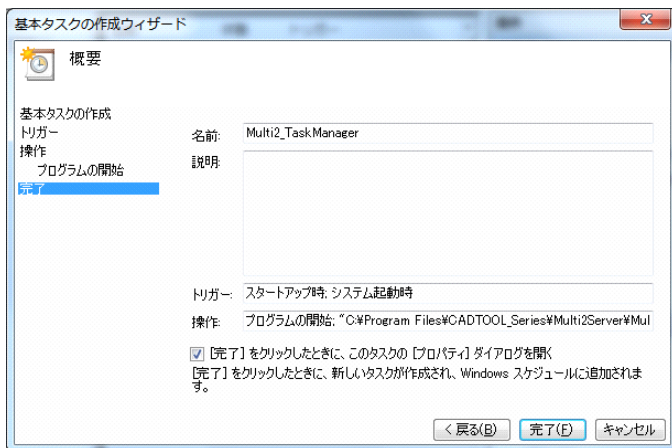
次に操作の設定となり、ここでは「プログラムの開始」を選択して [次へ] をクリックします。



次にプログラムの開始の設定になりますので [参照] ボタンをクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたフォルダ (デフォルトではC:\Program Files\CADTOOL_Series\Multi2Server) よりMulti2_TaskManager.exeを選択し、 [次へ] をクリックします。

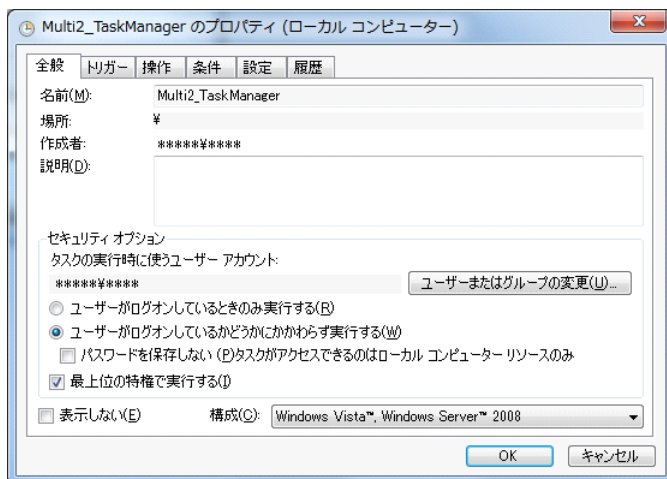


次にタスクの概要が表示されますが “ [完了] をクリックしたときにこのタスクの [プロパティ] ダイアログを開く ” をチェックしてから [完了] ボタンをクリックします。



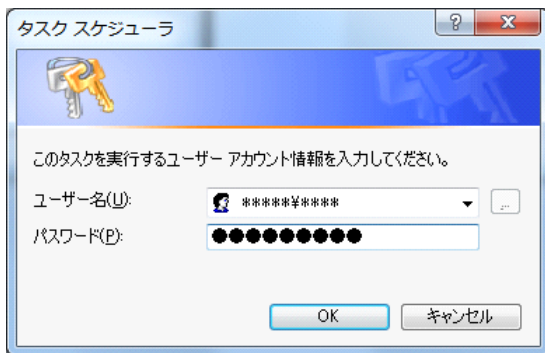
プロパティを開かずに [完了] してしまった場合は再度タスクスケジューラを開き、左側の [タスクスケジューラライブラリ] を選択するとタスクスケジューラの中央にタスクの名前が表示されますので、そこから **Multi2_TaskManager** を選択して右側の操作にある [プロパティ] をクリックすると開きます。

プロパティが開いたら “ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する” を選択して “最上位の特権で実行する” をチェックします。



ここで[OK]ボタンをクリックするとこのタスクを実行するユーザーアカウント情報の入力ダイアログが開きます。

ここでログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力したら「OK」ボタンをクリックして設定を完了します。



以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認してください。

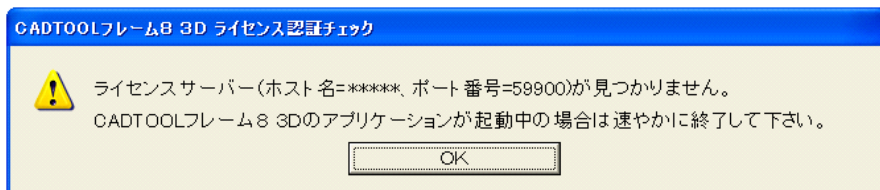
またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起動情報出力設定を行っておいてください。

第7章 トラブルシューティング

※フローティングライセンス版で表示される注意メッセージの原因と対策を以下に記述します。

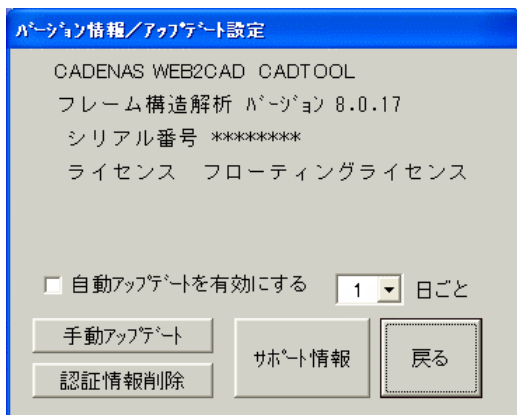
1. ライセンスサーバーが見つからない場合

各クライアント起動時にライセンスサーバーが見つからない場合は次のメッセージが表示されます。この例はフレーム構造解析 8 - 3D のメッセージになります。



次に原因と対策を説明します。

- ・ライセンスサーバーが起動していない→ライセンスサーバーを起動する。
- ・ネットワークが繋がっていない→ケーブルが外れている等、物理的な原因がないか確認する。物理的な原因がない場合はセキュリティソフト等でポートが遮断されていないか確認する。
- ・ライセンスサーバーのホスト名かポート番号が変更されている→クライアントの各コマンド起動メニューから [バージョンアップ/アップデート設定] ボタンをクリックして表示されたダイアログの左下にある [認証情報削除] ボタンをクリックしてサーバー情報を変更して下さい。次にフレーム構造解析 8 のダイアログを示します。



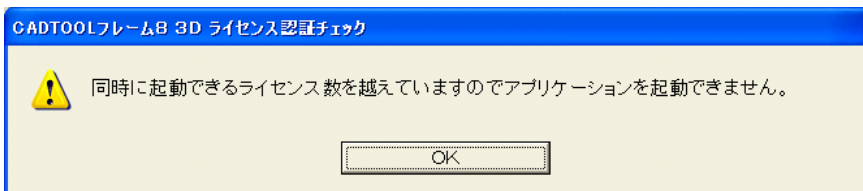
ここで認証情報を削除すると次回起動時にはシリアル番号、Aコードの再入力も必要になります。ライセンスサーバーと同じシリアル番号と各クライアント用のAコードを入力して下さい。

また認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新の状態にしてから認証削除するようにしてください。

なおこのメッセージはクライアントで作業中にライセンスサーバーを終了しても表示されず。間違えてライセンスサーバーを終了した場合はライセンスサーバーを再起動させてから上記メッセージの [OK] ボタンをクリックすれば作業を継続することができます。

2. 同時に起動できるライセンス数を越えた場合

クライアント起動時に同時に起動できるライセンス数を越えた場合は次のメッセージが表示されます。この例はフレーム構造解析 8-3D のメッセージになります。



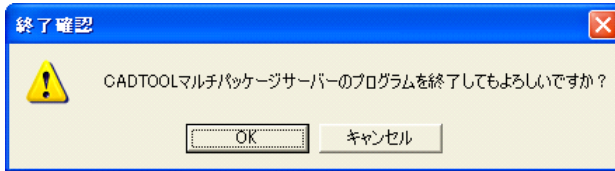
この場合はメッセージにある通りで同時に起動できるライセンス数を越えて起動しようとしていますので起動はできません。

ライセンスサーバーの管理画面には各パッケージ（フレーム構造解析では各コマンド）を起動しているコンピュータ名とユーザー名が表示されていますので、起動したまま使っていないユーザーがいれば終了してもらってから起動してください。

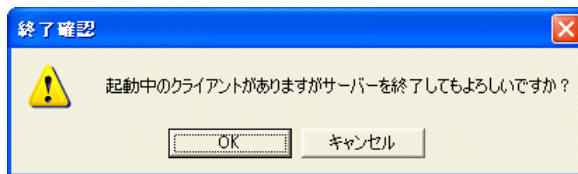
またこのメッセージが頻繁に表示されるようであればライセンス追加のご検討をお願いいたします。

3. ライセンスサーバー終了時の確認

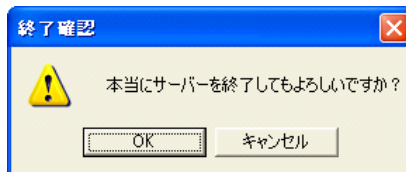
ライセンスサーバーの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして [プログラムの終了] をクリックすると右に示す終了確認メッセージが表示されます。



ここで [OK] をクリックしたときに起動中のクライアントがある場合はさらに右の終了確認メッセージが表示されますので本当に終了しても良いか確認してから [OK] ボタンをクリックしてください。



クライアントが起動中の場合はさらに下の終了確認メッセージが表示され、ここで [OK] ボタンをクリックするとライセンスサーバーが終了します。



なおいずれのメッセージでも [キャンセル] ボタンをクリックすると終了処理をキャンセルしますが、クライアント起動中にライセンスサーバーを起動しているコンピュータをシャットダウンするとこれらのメッセージは表示されずにライセンスサーバーが終了しますので注意してください。